

## 9月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成24年9月13日(木)
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、森委員、石堂教育長
- 4 出席した職員 小田教育総務部長、田淵教育指導部長、佐藤教育総務部次長、諏訪教育指導部次長、松尾教育指導部参事、小林教育総務課長、西田学務課長、奥野社会教育・スポーツ振興課長、仲田青少年育成課長、富原教育研究所長、中塚教育総務課副課長

5 傍聴者 なし

6 議事の要旨

- 開会 午後4時00分
- 会議録署名委員指名のこと  
神吉委員長、桃田委員に決定
- 8月定例教育委員会会議録報告承認のこと  
(事務局より会議録朗読報告)  
承認
- 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

- 1 加古川市立学校校区審議会委員の任命について  
(教育総務部次長より説明)  
承認

2 加古川市社会教育推進員の解職及び委嘱について  
(教育指導部次長より 説明)

承認

◎ 次期定例教育委員会予定日のこと

10月4日(木)午後2時～ 教育委員室で開催することに決定

○ 教育委員諸報告

[神吉委員長より]

(1) 全県教育長研修会について

8月28日(火)、29日(水)に神戸市で開催され、出席した。「時代の変容と保育の課題について」、「教員の定数改善」、「教員の資質向上について」講演があった。

(2) 教育委員会制度に関する新聞アンケートについて

教育委員会制度についてのアンケートに回答した。後日、新聞で結果が公表される予定とのことである。

(3) 中教審への意見書の提出について

文部科学省中央教育審議会の「今後の青少年の体験活動の推進について」の中間報告を受け、全国市町村教育委員会連合会長として意見書を提出した。

○ 教育長諸報告

(1) 平成24年第5回市議会定例会 一般質問について

教育委員会の関係では、井上津奈夫議員より「子どもの食生活と学校給食・食教育の成果と課題について」、原田幸廣議員より「本市における不登校の現状と課題について」、小林直樹議員より「『地球温暖化対策、暑さ対策』について」、木谷万里議員より「発達障害の支援体制について」、畑広次郎議員より「小中学校における“いじめ”の早期発見と対策・対応について」、森田俊和議員より「スクールソーシャルワーカー制度について」、「加古川市スポーツ振興基本計画について」の質問があった。

○ 教育総務部長報告

(1) 平成24年度9月市議会人事案件について

加古川市教育委員会委員任命につき同意を求めることについて、9月21日（金）に市議会へ上程予定である。

- (2) 平成24年度9月補正予算について  
学校給食調理業務委託について、債務負担行為を設定する。
- (3) 就学援助の認定について  
小中学校児童、生徒に対する就学援助の認定を行った。
- (4) 加古川市奨学生の選考について  
高等学校等に在籍する生徒に対して奨学資金を給付する「加古川市奨学生」を選考した。
- (5) 通学路の安全対策について  
8月8日（水）から24日（金）に市内28小学校の通学路の危険箇所の緊急合同点検を実施した。
- (6) 市内小中学校における事案について  
8月9日（木）以降、市内小中学校において4件の侵入事案等があった。
- (7) 市民会館改修工事に伴う閉館について  
市民会館の耐震化等の改修工事のため、平成25年9月1日から平成26年8月31日まで閉館となる。
- (8) 地域と学校の防災訓練の実施について  
昨年度、陵北小学校で実施した防災訓練に引き続き、今年度は市内9か所の小学校にて地域と連携した防災訓練を実施する。

以上、8件について報告。

○ 教育指導部長報告

- (1) 加古川市教職員研修会の実施について  
8月23日（木）に加古川市民会館大ホールで開催した。  
他の校務等で参加できなかった教職員には、8月29日（水）に同会館小ホールにてビデオ研修を実施した。

- (2) 「加古川市いじめ防止・対応マニュアル」について  
「加古川市いじめ防止・対応マニュアル」が完成した。
- (3) 平成 24 年度通常学級における特別な教育的支援が必要な子どもの調査結果について  
平成 24 年 7 月 1 日現在での調査結果がまとまった。
- (4) 平成 24 年度（第 3 回）社会教育委員会議の報告について  
8 月 31 日（金）に第 3 回社会教育委員会議を開催した。
- (5) 平成 24 年度全国中学校体育大会の結果報告について  
8 月 19 日（日）から 23 日（木）に全国大会が関東地方で開催された。  
加古川市からは、陸上、水泳、バドミントンで 37 名が出場した。
- (6) 平成 24 年度青少年の健全育成を考えるつどいについて  
10 月 20 日（土）、加古川市民会館にて開催する。「地域ぐるみ、小中連携で子どもを育てる」をテーマとする実践発表や、「これからの教育～いじめ問題への対応を通じて～」についての講演がある。
- (7) 加古川市民さわやか賞について  
8 月、将棋の大山名人杯争奪第 11 回全国小学生倉敷王将戦（低学年の部）で優勝した、野口南小学校 3 年生児童が「加古川市民さわやか賞」を受賞した。

以上、7 件について報告。

(委 員)： 小中学校における食育に関する議会の一般質問に対しては、どのような答弁をしたのか。

(事 務 局)： 教育活動全般の中で食育に取り組んでいること、また、家庭においても食育に取り組んでもらいたいという旨の答弁を行った。

(委 員)： 小学校給食の調理業務委託の実施後、どのような声が聞かれているか。

(事務局)： 学校・保護者・栄養士の情報交換をしているが、その中には委託を実施したことで問題が生じたというようなことは聞いていない。食材や献立についても学校給食会で統一したものを提供している。

(委員)： 加古川市における児童生徒の交通事故の状況はどうなっているか。

(事務局)： 通学途上の事故は少なく、帰宅後に出かけていて事故に遭うケースがよく報告されている。

(委員)： 市民会館が閉館となることで、教育委員会行事への影響がどれくらいあり、どのように対応するのか。

(事務局)： 全県の中学校長会や成人式等の大規模な行事は、他市町や別の会場への変更を検討しているところである。

(委員)： 学校支援ボランティアに関しては、地域が主となって保護者が「蚊帳の外」になるのではなく、保護者が主となって地域を巻き込みながら教育参画していくというのが本来の形であり、教育委員会事務局がそのように働きかけることが必要であるとする。

また、家庭教育の向上が、「教育の質」の向上につながるので、「保護者力」を上げるような取組みを考えてほしい。

(委員)： 家庭教育に関しては、子どもが小さいときから親子の教育的な関わりをもつことが大切である。

また、発達障害に関しては、診断に捉われず、子どもの症状や状態をよく見て対応してほしい。

○ 閉 会 午後 5 時 15 分